

H18年9月 一般質問より

◆高橋市長の政治姿勢について

市政を推進していく上で、加戸知事との人間信頼関係は構築されているか。また、管内選出県議員との連携は充分できているのか、そして、プルサーマル計画についての市長の見解を質問しました。

◇市長答弁

加戸知事と私は当選以来、良好な関係を築き格別な配慮をいただいている。地元の清家県議をはじめ地方局管内の先生と会うごと八幡浜市に地方局を置く姿勢を示し努力している。プルサーマル計画は個人的に反対するものではないが、安全運転管理に対して主体的に関与していき、市民の安心・安全を守りたい。

◆少子化対策について

出産祝い金制度の周知徹底・更なる充実はできないものか。また、多額の不妊治療費に対して、県の助成額(10万円)に上乗せする助成を制定する考えはないか質しました。

◇理事者答弁

周知徹底については、広報、ホームページを活用したい。県の助成制度にたいしての上乗せについては、検討したい。

◆商店街の活性化について

温泉好きな市民のニーズとも合わせて空き店舗や、新町ドーム等を利用して温泉施設に準ずるような足湯施設を整備できないものか、あるいは今までの商店街の固定観念に捕らわれず将来に向けて、新町・銀座商店街の片方を駐車場等に整備し車を降りてすぐに買い物ができる様、車の乗り入れを可能にするようなロードサイド型商店街作り構想ができないものか提案しました。

◇理事者答弁

中心市街地活性化計画のポケットパーク事業に位置付けられるが、実施主体のTMOが立ち上がっていない。商店街にしても斬新な発想であるが関係者の合意形成などと共に、市総合計画等において事業としての位置付けが必要であり十分な検討が求められているところ。

●意見書提出権の意義

当該地方公共団体の公益に関する事件に付き、議会の意見を国会又は関係行政庁に対して表明する権限を議会に与えたのが、意見書の提出権である。

編集後記

■秋も深まり、スポーツの秋、芸術の秋、食欲の秋……と色々な秋を満喫されている事と思います。

■9月は多くの行事に参加する機会がありました。年に一度は「元氣ですかー」と、沢山のひとと接しいろんな事を教わる敬老会。子供達が毎日練習してがんばった運動会。どれもこれも秋の一大イベントです。

■ソフトボール後期リーグ戦も終盤を迎え白熱しているのではないかと思います。

■八幡浜市のソフトボールと言えば、町の活性化アイテムの一つといえます。これは、ソフトボールに係わる全ての人の力と、思いが重なり合って生まれてくるものだと思います。

■やはり、どんな事をするにも「人が基本」なんです。

■だからこそ、「まちづくりは人づくり」なんです。

老若男女あらゆる人と素晴らしい人間関係を築ければ幸せな地域、より良い八幡浜が次の世代に継承できると思います。

「すんで

よかった

八幡浜」



H18年度 八幡浜高校同窓会総会にて

